

平成28年7月14日に東京都練馬区で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日15時頃、東京都練馬区で突風が発生し、倒木の被害がありました。
このため7月15日、東京管区气象台は、職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。
調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定に至らなかった。

(根拠)

・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。

(特定に至らなかった理由)

・聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、不明である。

(根拠)

・風速を評定するに十分な根拠が得られなかった。

* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。